

新型コロナウイルス感染症流行時の 避難行動について

感染症が流行している状況において、
避難所は感染拡大の危険性が高まるリスクがあります。

避難とは「難」を「避」けることです。

ご自宅が安全であれば、必ずしも避難所に避難する必要はありません。

令和2年9月

ステップ1

災害が来る前に、ご自宅が安全かどうか確認しましょう

※市内では大きな川の氾濫や土砂災害の想定される区域はありません

水害：武蔵野市浸水ハザードマップを見て、自宅と周囲の地理的特徴を事前に確認しましょう



【ポイント】

- ・土のう等の準備
- ・雨が強く降っている時やその直後は、地下室、地下空間に近づかない
- ・万が一の浸水に対しては、上の階に行く「垂直避難」が有効

地震：被災後も住み慣れた自宅で生活が続けられるよう、事前の対策をしましょう

（この行動を

「在宅避難」と言います）

【ポイント】

- ・建物の耐震化
- ・家具の転倒・落下・移動防止対策
- ・窓ガラスの飛散防止対策
- ・家庭内備蓄

必ずしも避難先は、避難所だけではありません

在宅避難のほか、安全な親戚・知人宅に避難することを考えてみましょう

（この行動を「分散避難」と言います）

「家庭内備蓄」で災害に備えましょう

家庭内備蓄は特別な準備を必要とするものではありません。日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備え、その状態を保つよう日常の中で消費・購入を繰り返しましょう。備蓄の目安は7日分程です。在宅避難ができるよう、非常食、飲料水、携帯用トイレなどが必要です。

ステップ2

ご自宅が被災するなど

万が一、避難所に避難をする場合には

感染症対策用品を持参しましょう

避難する際の持ち物（非常持出品）チェック

（避難時には最低3日分を持ち出しましょう）

- | | | | |
|-------------------------------------|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 携帯トイレ | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー |
| <input type="checkbox"/> 救急医薬品 | <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> 個人必需品（眼鏡、入歯等） |
| <input type="checkbox"/> 貴重品 | <input type="checkbox"/> 生活用品 | <input type="checkbox"/> <u>マスク</u> | <input type="checkbox"/> <u>手指消毒液</u> |
| <input type="checkbox"/> <u>体温計</u> | <input type="checkbox"/> <u>ウェットティッシュ</u> | <input type="checkbox"/> <u>スリッパ、靴（屋内用）</u> | |



感染症流行時には、可能な限り、マスク、手指消毒液、体温計、室内履き等を持って避難

◆避難所内への車の乗入れは、災害対応の支障となるため、ご遠慮ください。

避難所における感染防止の取り組み例

入所受付前の検温

および健康状態の確認

咳エチケットや手指消毒、換気等

衛生環境確保の呼びかけ・実施

避難者同士の

距離を保つ区割りの実施

マスク、消毒液、体温計等の

備蓄を推進